

令和元年度決算のあらまし

年間業務量

項目	区分	令和元年度	平成30年度	比較増減
給水世帯		62,212世帯	61,635世帯	577世帯
給水人口		141,509人	141,856人	-347人
年間配水量		15,408,828 m ³	15,696,346 m ³	-287,518 m ³
1日平均配水量		42,101 m ³	43,004 m ³	-903 m ³
年間有収水量		14,291,403 m ³	14,480,777 m ³	-189,374 m ³
有収率		92.7%	92.3%	0.4%

主な事業概要

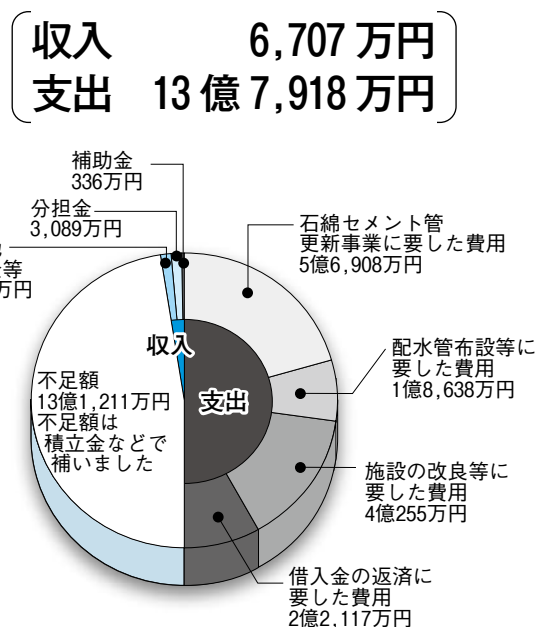
建設工事は、口径75mmから150mmの配水管を388.5m布設しました。

改良工事は、石綿セメント管更新工事として口径75mmから350mmまでの配水管を4,259.7m(このうち、重要給水施設配水管として口径75mmから150mmを199.7m)、口径150mmから口径200mmの導水管を730.2m、口径350mmから口径450mmの送水管を705.3m更新しました。

資本的収支(税込み)

分担金などの収入、安定した水を送りつづけるために必要な施設整備や配水管布設工事に要する費用の収支です。

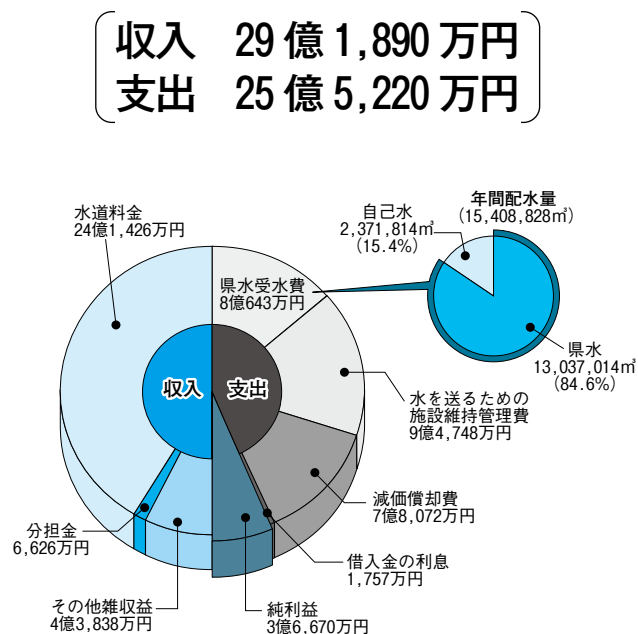
収入は6,707万円、支出は13億7,918万円で、13億1,211万円の不足が生じ、不足額は積立金などで補てんしました。



収益的収支(税抜き)

みなさんにお支払いいただいた水道料金などの収入、安全にご家庭まで水をお届けするために要する費用の収支です。

収入は29億1,890万円、支出は25億5,220万円で、3億6,670万円の純利益となり、企業債償還金の財源などへ充当しました。



資金不足比率を公表します

特別会計の名称	資金不足比率(%)	経営健全化基準
桶川北本水道企業団 水道事業会計	— (資金不足比率なし)	20.0%

※資金不足比率が経営健全化基準を上回った場合には、経営健全化計画を策定し経営の健全化に努めなければなりません。

「地方公共団体の財政の健全化に関する法律」に基づき、水道事業会計の資金不足比率を公表します。

水道企業団では、令和元年度の資金不足比率はありませんでした。